

学校再編通信 vol.2（広報くわな10月号）に引き続き、市内の小中学校において、早急に解決すべき課題を説明します。

学校の老朽化

市内の小中学校（多度学園を除く31校）のうち18校が令和8年4月時点で築50年を経過しています。学校は子どもたちが安全・安心かつ快適に学習や生活を送る場であり、防災・防犯面も含めた環境整備が不可欠です。現在は長寿命化計画や修繕などで適切に維持管理されていますが、このままでは将来的な安全の確保や、技術進展に伴う今後の教育の変化への対応が難しくなる懸念があります。

市内小中学校の築年数
（各学校の最も古い校舎の築年数）R8.4時点

小学校				中学校	
学校名	築年数	学校名	築年数	学校名	築年数
日進	63	深谷	55	成徳	60
精義	64	城南	64	明正	62
立教	58	大山田東	47	光風	51
城東	37	大山田北	44	陽和	39
益世	59	大山田西	41	正和	51
修徳	57	大山田南	35	陵成	44
大成	62	藤が丘	31	光陵	37
大和	55	星見ヶ丘	25	長島	40
桑部	51	長島北部	48		
在良	55	長島中部	56		
七和	54	伊曽島	47		
久米	54				

分散進学

桑名市では、公立小中学校の通学区域は自治会などで区分された「学区」により定められています。しかし市内には、1つの小学校から2つの中学校に分かれて進学する小学校区があります。こうした分散進学により、共に過ごしてきた友達と離れて中学校生活をスタートさせる子どもたちには、さまざまな配慮やケアがなされていますが、心的不安を抱かせるしまうなどの心配があります。

多度学園について

多度学園で1学期末に実施した「児童生徒・保護者アンケート」では、多くの児童生徒・保護者から肯定的な回答がありました。子どもたちからの率直な意見や感想、保護者の皆さんからの貴重なご意見を多度学園のホームページ上で公開しています。

たどつ子だより No.18
（アンケート結果のまとめ）



児童生徒、保護者
アンケート結果のご報告



よくあるお問い合わせ

古い学校は大規模修繕や長寿命化をすればいいのでは？

長寿命化計画に基づく修繕・改修により校舎を適切に維持管理していますが、いずれは建て替えが必要です。新校舎建設には時間を要するため、問題を先送りせず、現時点での将来の再編計画の方向性をお示ししました。なお、現在の校舎につきましても、今後も計画的な修繕・改修を継続していきます。

一定の築年数を超えた学校はすぐに建て替えるべきでは？

同一敷地内での校舎の建て替えは授業をはじめ学校生活に支障をきたす恐れがあるため、現在通っている子どもたちの安全・快適な教育環境を守ることを最優先に、緊急性や予算などを勘案しながら、各学校の修繕・改修を計画的に実施しています。今の子どもたちの学びを保障しつつ、将来の児童生徒にもより良い環境を引き継ぐため、計画的な対応を進めています。

現在学校に通っている児童のことを優先するべきでは？

市内全ての小中学校の耐震改修やエアコン設置などは完了しており、今後も計画的な修繕により安全な環境を維持します。また、単に建て替えるだけでは「学校の小規模化」や「同一敷地内での建設に伴う教育活動への支障」といった課題を解決できません。そのため、校舎の機能が維持できている間に、地域と理解を深めながら将来を見据えた再編を進めてまいります。

問 学校再編推進課（☎ 24-1354 FAX 24-1358）

生活応援ごみ袋配布事業のお知らせ

国の重点支援交付金を活用した物価高騰対策として、ごみ袋の需要が増える年末年始に先立って市指定のごみ袋を配布します。配布は11月中旬から順次、事前申請なしで世帯主に郵送します。なお、再配達抑制、二酸化炭素削減の観点から置き配をさせていただく場合があります。

配布物 可燃ごみ袋（大）1袋（10枚入）、可燃ごみ袋（小）1袋（15枚入り）
プラごみ袋 1袋（10枚入）

基準日など 令和8年10月1日現在、桑名市に住民登録がある世帯主

配布時期 11月中旬から順次郵送（置き配の場合あり）

警察庁の統計によると、年末に向けて特殊詐欺の被害が増加する時期になります。本市でも残念なことに特殊詐欺の被害が相次いで発生したことから、今回のごみ袋の配布にあわせて、特殊詐欺防止のチラシを同封します。ぜひ家族の皆さんと一緒にご覧いただき、被害防止に努めてください。



市HP

問 環境対策課（コールセンター）☎ 050-1741-3583



孤独孤立対策 — 桑名市依存症相談窓口

依存の悩み、ひとりで抱え込まないでください

医療現場で活躍中の「精神科認定看護師」が相談員を務める依存症相談窓口から、さまざまな相談に応じる現場からの声をお届けします。「これって依存症なのかな」「家族や友人のことで困っているけれど、どこに相談したらいいの？」——そんなときは、ぜひお気軽にご相談ください。

私たちは、日々、精神科の現場で支援に携わっている精神科認定看護師です。「気持ちの問題」「頑張ればいい」といった精神論だけではなく、今の状況を一緒に整理し、これからどうすればいいのか、具体的な方法を考えていきます。そして、依存症の問題を抱えるご本人だけでなく、支えているご家族や周囲の人の心のケアも大切にしています。

相談できるのは、ご本人やご家族だけではなくありません。親戚や知人など、身近な人のことで気になっているという相談も大丈夫です。また、すでに回復されている人が「月に一度ここで話すことで、もう一度自分の決意を確認したい」と継続して利用されることもあります。学生さんの場合も、最初は保護者の人だけが相談に来て、少しずつご本人も相談に来られるようになったケースがあります。

依存症の相談は、決まった形で利用する必要はありません。今のあなたに合った使い方をさせていただきます。

「こんなことを相談していいのかな」と思うようなささいなことでも大丈夫です。秘密は厳守します。ひとりで抱え込まず、まずはお気軽にご相談ください。

問 福祉支援室（☎ 24-7440 FAX 24-1457）



ご家族だけの相談もできます

相談無料・事前予約
毎月第3日曜日午前
スター21にて開催

相談窓口の
申込はこちらから

